

情報公開用文書 (単施設研究用)

西暦 2025 年 12 月 26 日 作成

(第 1 版)

研究課題名	急性期病院における下部尿路機能障害を有する患者の自排尿再獲得に影響する要因 -二次救急拠点病院での排尿ケアチーム介入の有用性に関する分析-
研究の対象	横浜南共済病院において 2024 年 10 月から 2025 年 12 月 31 日までの期間に脳卒中で入院され、排尿ケアチームが介入した患者さんが対象です。
研究の目的	排尿機能障害、すなわち尿がうまく出せなくなってしまう患者さんに対して、膀胱に尿を排出するためのカテーテルを留置することがあります。しかし、留置が長期化すれば、患者さんの排尿機能が回復しないようになってしまえばかりでなく、尿路感染症などを併発する危険があります。そこで、患者さんの排尿機能を回復させるための“排尿ケアチーム”というものがあります。チームは泌尿器科医師、専任看護師、作業療法士、理学療法士、薬剤師、医事課スタッフで構成され、これに病棟看護師を加えて、いろいろな職種で連携を図りながら、早期に患者さんの排尿機能を回復させ、患者さんの身体機能(ADL)の向上を図り、尿路感染症の発生を防ぐことを目標としています。排尿ケアチームが対象とする患者さんは、泌尿器科疾患の術後や脳卒中患者が多く占めており、中でも脳卒中患者さんは排尿障害を呈しやすく、まひなどの神経症状と相まって、膀胱カテーテル留置がより ADL 低下をきたす要因となります。脳卒中においては ADL の回復が目標となりますが、ADL の向上は排尿機能と密接に関係しているといわれています。しかし、ADL 向上のためのリハビリテーションは早期に行われる傾向にあるものの、排尿ケアチームの介入する時期は、種々の事情により遅れがちとなっているのが現状です。また、当院のような急性期病院では入院日数の短縮が求められており、排尿機能が改善する前に転院となってしまうことで、カテーテルの留置が長期化する懸念があります。膀胱留置カテーテルが長期化すると尿路感染症を生じるリスクがあり、尿路感染を併発すると更なる ADL 低下や意欲・認知機能の低下の一因となるため、早期に排尿機能を改善させて膀胱留置カテーテルを抜去することが求められています。このように、脳卒中ではなるべく早期から排尿ケアを行うことが重要と考えられますが、当院のような急性期病院において、排尿ケアチームの活動の実態や有効性を検討した研究はあまりありません。患者さんの今後の生活の質を高め、医療資源を効率的に活用することは重要であり、本研究は、限られた時間の中で排尿ケアチームがどのように関わって、排尿機能と ADL の改善にどれくらい貢献できるかを検討することを目的としています。
研究の方法	当院の排尿ケアチームへ介入依頼があった脳卒中疾患患者さんの排尿状況について、記述統計的にまとめます。また、自排尿の有無や ADL(日常生活動作)、介入内容(薬剤や導尿、残尿測定)の関係等について解析し、急性期病院における排尿状況改善に関連する因子を同定します。 いずれも通常の排尿ケアチームでの活動で得られた情報を用いますので、研究対象の方のご負担になることはありません。
研究の期間	研究機関の長の許可日 ~ 西暦 2027 年 3 月 31 日

<p>研究に用いる 試料・情報の種類</p>	<p>【情報】診療録から以下の情報を収集します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年齢、性別、既往歴、使用薬剤 ・自排尿の有無・量、残尿量、導尿の有無・回数、膀胱留置カテーテル抜去日、FIM（機能的自立度評価）等。
<p>試料・情報の 授受</p>	<p>本研究では、外部機関との試料・情報の授受はありません。</p>
<p>個人情報の管理</p>	<p>検体・情報は、個人名など単体で個人を特定できる情報を削除し、研究用の番号（識別コード）で管理します。必要時に個人を照合できるよう対応表とよばれる個人と識別コードを対応させた表を作成しますが、その表は当院外へ提供することはありません（ので、当院外の機関が個人を特定することはできません）。</p>
<p>試料・情報の管理 について 責任を有する者</p>	<p>研究責任者：横浜南共済病院 中央棟 4 階西病棟 熊坂優夏</p>
<p>利益相反</p>	<p>利益相反とは、研究成果に影響するような利害関係を指し、金銭及び個人との関係を含むものです。本研究では資金提供を受けておらず、利益相反もありません。</p>
<p>研究組織</p>	<p>【研究機関と研究責任者】 横浜南共済病院 排尿ケアチーム 中央棟 4 階西病棟 （研究責任者）熊坂優夏 泌尿器科 （研究監修者）佐野太 泌尿器科 （研究分担者）山下大輔 中央棟 4 階西病棟 （研究分担者）寺崎恵 中央棟 4 階西病棟 （研究分担者）大友愛織 リハビリテーション科（研究分担者）牧田優香 薬剤科 （研究分担者）日下田葵 経営企画課 （研究分担者）堀之北淳朗</p>
<p>本研究に関するご質問がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。 ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますので下記の連絡先まで電話またはFAXでお申出下さい。 また、情報・試料が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはございません。</p>	

問い合わせ先

〒236-0037 神奈川県横浜市金沢区六浦東 1-21-1

国家公務員共済組合連合会 横浜南共済病院

電話 045-782-2101 (代表) (平日 8 時 30 分から 17 時 15 分まで)

FAX 045-701-9159

連絡先対応者 (研究責任者)

中央棟 4 階西病棟 熊坂優夏

* お問い合わせ内容によっては、こちらから改めてご連絡をさせて頂くことがあります。あらかじめご了承ください。

以上

西暦 2026 年 1 月 19 日 承認